

各位

会社名 株式会社ウェルディッシュ
代表者名 代表取締役社長 小松周平
(コード番号 2901 東証スタンダード)
問合せ先 経理総務部(電話 03-6277-2308)

【訂正】「業績予想の修正に関するお知らせ」の訂正に関するお知らせ

本日開示の当社「業績予想の修正に関するお知らせ」に誤りがございましたので、下記のとおり訂正させていただきます。
本日開示の当社「2025年3月期第3四半期決算短信[日本基準](連結)」に記載の業績予想の数値と異なっておりました。

記

1. 訂正の理由

本日開示の当社「業績予想の修正に関するお知らせ」に誤りがございましたので、訂正するものです。

2. 訂正箇所

訂正箇所には、下線を付しております。

【訂正前】

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	2,080	80	300
今回修正予想(B)	2,000	<u>190</u>	<u>370</u>
増減額(B-A)	<u>△80</u>	<u>110</u>	<u>70</u>
増減率(%)	<u>△3.8</u>	<u>137.5</u>	<u>23.3</u>
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	2,015	△121	△351

2025年3月期通期個別業績予想数値の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	1,033	30	124
今回修正予想(B)	<u>1,050</u>	<u>180</u>	<u>250</u>
増減額(B-A)	<u>17</u>	<u>150</u>	<u>126</u>
増減率(%)	<u>1.6</u>	<u>500.0</u>	<u>101.6</u>
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	218	△147	△342

修正の理由

営業利益につきまして、セグメント別ではウェルネス事業における利益率の高い健康食品の企画・コンサルティングからフードサービス、レシピの提供まで一気通貫の新規顧客が増加致しました。既存の食品・飲料商品につきましては国内外への販売価格見直しも行き、これまでの原料価格の上昇を販売価格へ反映させる交渉を致しました。メディカルコスメ事業におきましてもマーケティングを強化した医療化粧品及びサプリメントの採算性が大きく改善致しました。また、中国子会社においては今期の受注件数増加に伴い、管理体制と生産効率を見直したため、採算性の改善が進みました。これらすべてが重なりまして営業利益が大きく伸長する見込みとなりました。当第3四半期に営業利益の伸長率が高まったことが確認されたため、2025年3月期通期連結業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、当期利益につきましては、M&Aに係る手数料等がクローリング時に確定することに起因し、現時点においては正確な数字見込みが算出し難いことから債権放棄に伴う特別利益計上分のみの修正としております。今後につきまし

ては、2025年3月31日付に当社の連結に加わる予定のグランドルーフ社と2026年3月期における医療・福祉介護期間向けのウェルネスサービス事業をスムーズに実行できるよう、サービス体制を速やかに統合、拡張して参ります。メディカルコスメ事業におきましては、2025年3月31日に当社の連結に加わるハーバーリンクス社と一般消費者向けへの販売及び小売店への営業推進の準備を速やかに進めてまいります。中国子会社におきましては、中国国内企業との販売契約拡大に伴い、来期の工場稼働予測率が既に100%となっていることから、2026年3月期に工場の稼働率を高められるよう速やかに設備拡張検討を行ってまいります。今後も当社はシナジーの高い企業のM&Aソーシングに努めるとともに、単体においても従来の食品・飲料事業を成長させるために中期経営計画でお示した健康食品及び水を含む飲料に特化した事業開発、海外への販路開拓を行ってまいります。

【訂正後】

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	2,080	80	300
今回修正予想(B)	2,000	180	400
増減額(B-A)	△80	100	100
増減率(%)	△3.8	125.0	33.3
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	2,015	△121	△351

2025年3月期通期個別業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	1,033	30	124
今回修正予想(B)	1,033	160	280
増減額(B-A)	0	130	156
増減率(%)	0.0	433.3	125.8
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	218	△147	△342

修正の理由

売上高につきましては、日本銀行の政策決定会合による政策金利の上昇に伴う円高傾向の影響を加味し、中国子会社の売上高の見込み(中国元・日本円)に若干の修正を行っております。営業利益につきましては、セグメント別ではウェルネス事業における利益率の高い健康食品の企画・コンサルティングからフードサービス、レシピの提供まで一貫通貫の新規顧客が増加致しました。既存の食品・飲料商品につきましては国内外への販売価格見直しも行き、これまでの原料価格の上昇を販売価格へ反映させる交渉を致しました。メディカルコスメ事業におきましてもマーケティングを強化した医療化粧品及びサプリメントの採算性が大きく改善致しました。また、中国子会社においては今期の受注件数増加に伴い、管理体制と生産効率を見直したため、採算性の改善が進みました。これらすべてが重なりまして営業利益が大きく伸長する見込みとなりました。当第3四半期に営業利益の伸長率が高まったことが確認されたため、2025年3月期通期連結業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、当期利益につきましては、M&Aに係る手数料等がクロージング時に確定することに起因し、現時点においては正確な数字見込みが算出し難いことから債権放棄に伴う特別利益計上分のみの修正としております。今後につきましては、2025年3月31日付に当社の連結に加わる予定のグランドルーフ社と2026年3月期における医療・福祉介護期間向けのウェルネスサービス事業をスムーズに実行できるよう、サービス体制を速やかに統合、拡張して参ります。メディカルコスメ事業におきましては、2025年3月31日に当社の連結に加わるハーバーリンクス社と一般消費者向けへの販売及び小売店への営業推進の準備を速やかに進めてまいります。中国子会社におきましては、中国国内企業との販売契約拡大に伴い、来期の工場稼働予測率が既に100%となっていることから、2026年3月期に工場の稼働率を高められるよう速やかに設備拡張検討を行ってまいります。今後も当社はシナジーの高い企業のM&Aソーシングに努めるとともに、単体においても従来の食品・飲料事業を成長させるために中期経営計画でお示した健康食品及び水を含む飲料に特化した事業開発、海外への販路開拓を行ってまいります。

以上